

小屋裏換気の活用でまず夏場の熱気対策をと考えますが、 小屋裏換気的重要性は夏場に限ったものではありません。

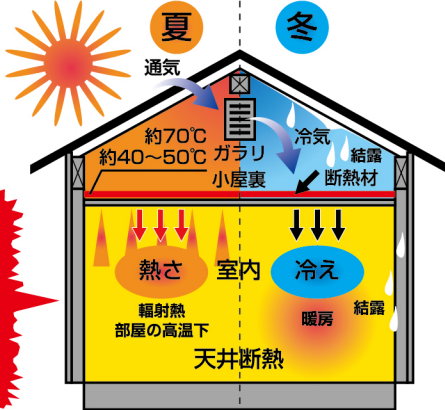
夏場の小屋裏では

日射による熱が直接野地板の裏面に伝わり、輻射熱を小屋裏空間に放ち続けて小屋裏内の気温を上昇させてしまい暑い時期には60℃近くに達することがあり、時には60℃を超える場合もあります。

冬場の小屋裏では

寒い季節に、小屋裏に進入した水蒸気は、外気で冷やされた屋根裏の野地板や棟材などの表面で結露を発生させることになります。当然ながら結露は屋根の部材を劣化させることになります。

家屋は、
厳しい環境に
さらされて
います。



自然換気だけで十分ですか？ +

小屋裏機械換気が有効

結露を防止！

- 湿った暖気を逃す。
- 小屋裏に暖気を滞留させない。

● 1時間当りの換気回数

約7回

換気扇2台設置
小屋裏気積65m³の
(小屋裏面積約20坪) 場合

ポイント！

「小屋裏換気」見えないけれど重要です。

● いつもは見えない小屋裏の換気が、住まいと家族の健康の重要なポイントです。

1. 小屋裏の温度を下げます！

換気により熱気を排出し、冷房効率がアップします。

2. 小屋裏の結露をシャットアウト！

換気をすることで、結露の原因を取り除き、住まいの強度劣化を防ぎます。
(結露は自然現象ですが、漏水と同じような被害をもたらします。)

冬場には結露発生によるトラブルが種々みられます。

小屋裏の結露は放っておくと木材が腐朽し屋根材との接合部の強度を弱らせ台風や地震のときの耐久性が大きく劣化してしまいます。

冬こそ小屋裏換気を。結露は夏場だけに発生するものではありません。

冬場室内で発生した様々な水蒸気が小屋裏にこもり、気温の変化によって空気を含みきれない水分が水滴となって木部や鉄骨に付着します。それが時間の経過とともに蓄積され住宅の寿命を縮めるのです。

小屋裏の機械換気を適切に行うことは、結露による木材の劣化を防ぎ、健全な耐久性を保持することにつながります。

